

解答

一

- (1) こうはい (2) ひんぴょう (3) ひき (4) じゅひょう (5) とな〔える〕
(6) 暖〔かい〕 (7) 必至 (8) 管制 (9) 用心棒 (10) 機密

二

- (1) ケ (2) コ (3) ウ (4) イ (5) キ

三

- 問一 あなた
問二 ウ
問三 倒置法
問四 黙って

四

- 問一 ぼくは期待していた。
問二 1 ウ 2 エ 3 ア 4 イ
問三 ぼく（から）先生（へ）
問四 ウ
問五 ウ
問六 あ 頭と胸と腹 い 胸 う 六本 え 肢 お 前 か 触角
問七 ウ
問八 うろこ
問九 ア
問十 イ

五

- 問一 あ イ い オ う エ え ア お ウ
問二 ヘ引きあげていった。
問三 ウ
問四 後ろめたさ
問五 エ
問六 エ
問七 じゃがまるが、ぼくや章くんよりずっと速いやつに勝ったら、手紙で知らせること。
問八 ア
問九 イ

解説

三

- 問三 最後の連の「伝えてください あなたを」に着目すると、「あなたを 伝えてください」という語順を入れかえていることがわかります。語勢を強めたり、語調をととのえたりする「倒置法」を用いて、作者の主張を強調しています。
- 問四 第一連のおわりにある「むうむう黙っていてください」にすると、筆者は黙っていることも、自分の気持ちを伝える手段であると考えていることがわかります。通常、黙っていることは「伝える」という意味では使わないので、「黙って」を抜き出します。

問一

抜けている段落が、「ところが」で始まり、「依然として頭と胴体、肢は四本なのである！」という記述を含んでいることに着目します。本文の中盤に、上、中、下と三段になった絵の説明があります。上段の絵は「子どもたちの描いた絵の多くは、頭と胴体、四本の肢というよくありがちな虫の絵」であり、二段目で「本当のアリの姿が描かれるはずだとぼくは期待していた。」ことから、この後に入れるとうまくつながるので、直前の十字は、「ぼくは期待していた。」になります。

問二

——線部④の後に、「先生の説明はまだなかったのに、忽然として頭と胸と腹になっていたことであつた。」という記述があります。頭と胴を描いたり消したりして迷っていた子が、本物のアリを見たときに描いた絵から、とても優れた観察力を持っていたことがわかるので、最もふさわしいものは選択肢イになります。

問七

直前にあるぼくの言葉に「それ」の指し示す内容が述べられています。「『そりゃあ、ぼくらの競泳は』で始まる部分から、じゃがまるが、ぼくや章くんよりずっと速いやつに勝ったら、手紙で知らせるといふ内容をまとめます。

問九

本文には、毎年夏休みの二週間を、章くんの別荘に集まってすごしていたぼくたち五人の最後の夏の様子が描かれています。ぼくが今までわざと章くんに負けていた競泳の勝負で、断トツの一位になり、章くんにつねられたほおがじんじんしていることから、この夏の出来事がずっと心に残ることが伝わってくるので選択肢イが選べます。